

伊方町農業支援センターだより

企画発行 / 伊方町地域担い手育成総合支援協議会（伊方町農業支援センター内）

伊方町農業支援センター



〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦 1993-2
TEL(0894) 38-0311 (JAにしろわ伊方支店代表)
FAX(0894) 38-1063

なお、瀬戸・三崎総合支所にも受付窓口を設置しております。

瀬戸総合支所地域振興室 TEL(0894) 52-0113
三崎総合支所地域振興室 TEL(0894) 54-1113

発行にあたり

新年明けましておめでとうございます。農家の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新しい年が、皆様にとりまして幸せ多き一年でありますよう心からご祈念申し上げます。

さて、平成23年は1月の寒波で果実に大きな被害をもたらし、春先は気温が上がらず開花時期が遅れ、梅雨明け後は平年より雨量が多く果実の品質管理に大変苦勞した年になりました。

表年で豊作が見込まれていましたが、生理落下が進みましたが西宇和平均で前年比約108%となっており、価格も震災の影響で不安の中の販売となりました。価格は前年比で約93%でまずまずの結果になっています。

農業を取巻く情勢は、TPPの大きな問題に直面して厳しい状況が続いています。農業支援センターでも農業支援のために、各種課題に取り組んでいますので、お気軽にご利用ください。

鳥獣被害対策について



最近、農地や住宅街に出没するイノシシが多くなっています。

被害に合わないためにも日頃から、対策を行いましょう。

【餌付けになることはしない】

- ・生ごみや野菜クズを農地などにすてないようにしましょう。
- ・収穫しない果樹園地がないか点検し、収穫しない果樹は切るなどの検討を行いましょう。
- ・お墓のお供え物も、餌付けと同じになるので、家に持ち帰りましょう。

【怪しいところは草刈をしよう】

- ・農地や住宅地周辺の怪しいヤブは草刈を行い、鳥獣の進入路や隠れ場所をなくしましよう。

西宇和かんきつ

産地直送出前授業

平成23年11月7日(月)～11月10日(水)の4日間、愛媛県松山市2校・東京都9校・埼玉県1校で八西地区青年農業者連絡協議会会員、7名が『西宇和みかん産地直送出前授業』を行いました。

初日は、全員で松山市立東雲・味生小学校の各三年生を対象に授業を行いました。東



雲小で緊張の中、最初の授業が始まりました。

2日目からは2班に分かれて、東京都9校・埼玉県1校でパワーポイントを用いて協議会メンバーが持ち回りで、各自の持ち味を出して授業を行いました。

プレゼンにより、温州みかんがどの様な場所で作られているか三つの太陽・栽培作業・運搬方法・選果場での作業等・美味しいミカンを作るための説明を行いました。

画面が変わる毎に、子供たちからは凄いとの声が上がりました。三つの太陽の説明では東雲・味生小学校の子供たちは授業で習っていて、太陽と海からの反射につ知っていました。石積みからの反射は知らなかったようで驚いていました。東京都・埼玉県の学校では海や石積みからの反射については知っている子は少

なくて、殆どの人は知らないとの事でした。石積みの反射熱についてもうなづきながら説明に食い入っていました。

プレゼンの後、剪定鋏・肥料・採集袋の実物を見せて使い方などの説明をして質疑応答に移り、実物を見た子供たちはスプリンクラーヘッドが水の勢いで回転するには興味を示していました。

『みかん作りでの辛いことや楽しいこと・一本の樹で何個のみかんが取れるか・選果場で甘いのと酸っぱいのはどのように見分けているのか・果実の中で袋で分かれている訳は・どうしてみかんが色づくの・果実の中に種が入っているのがあるがどうして・何で段々畑なの・モノレールの速さは・ブランド力を高めるために努力しているか』等の大人顔負けの沢山の質問があ

りました。が、会員は一つ一つ丁寧に詳しく説明を行いました。

その後、ミカンの収穫体験に移り、鋏の使い方と二度切りの説明を行い、『二度切りの意味が分からなく一度に切るとみかんを傷付けたら他のみかん箱に入れたら他のみかんに傷を付けるから』と説明すると、そうなんだ分かったと納得していました。

収穫体験では、松山市の二校には鉢植えの樹を、東京都・埼玉県の各学校は果実が付いた枝を持参して子供たちが興奮気味の中、鋏を逆に持つ子や一度に切る子供がいました。が採果鋏で一人一人が慎重に収穫を行いました。

『初めてみかんを採った』と声が多くありました。中には祖父母の家で採った事があると聞いた子供もいました。どの子も収穫体験ができたことが嬉しくて、笑顔が絶えませんでした。

金富小学校では、保護者からも質問を受け『みかんは年に何回取れるのか・出荷できないみかんはどうしているの



か・果実の中に種があるのがあるがどうして』等の質問があり、和気あいあい授業を行うことができました。

四日間で12の小学校での出前授業で、移動やプレゼンと大変キツイ日程でしたが、参加者全員が子供たちの笑顔と直に接して生の声が聴けたこと、また、来年も授業をして欲しいとの要望が各校からあり、非常に有意義な出前授業になったと話合いました。

最後にみかんを見たら『しうわみかんと僕たちを思い出してね』と言って、お礼の挨拶をして帰路に着きました。

防護柵を設置するときのポイント

維持管理を想定して、適切な防護柵の設置を行う。

10年後も維持管理ができるよう、柵の種類や設置ラインを検討する。

メンテナンスフリーの防護柵は無い。

突破されても諦めない。防護柵は機能している。

破られた柵を補修、補強すれば防止効果は復活する。

電気柵

★電気ショックで撃退

- ・イノシシは3段、シカは5段が基本
- ・1段目は地面から20cmの高さで張る。
- ・地形の凸凹に合わせて隙間を作らないように張る。

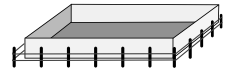
★効果の決め手はアース

- ・アース棒は、湿った地面に深く埋める。

★舗装道路からは50cm離して張る。

★漏電防止のため、草刈を適時行う。

トタン柵



電気柵にトタン柵を組合せると、「目隠し効果」により防除効果が高まる。トタンを張る際、地際や角に隙間を作らないことが重要。

金網柵、ワイヤーメッシュ柵等

★イノシシ1.2m以上、シカ1.8m以上の高さに設置。

★網目は10cm以下にする。

★つなぎ目、地際が要注意。

- ・破壊や掘り返されないよう、しっかり固定。
- ・掘り返し防止に、地際を竹で補強。
- ・地形の凸凹に合わせて隙間を作らないように張る。

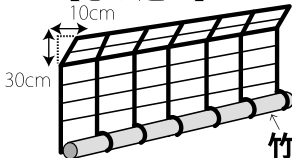
★ワイヤーメッシュの横筋は圃場側。

【忍び返し】上部の30cmを10cm(20°~30°)曲げる

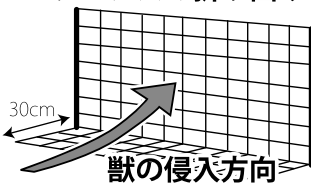
★金網フェンスは地際30cmを折り曲げて設置。

★柵の外側は定期的に草刈をし、管理道にする。

ワイヤーメッシュ【忍び返し】



フェンスの折り曲げ



ネット柵

★シカの被害防止に効果あり。

柵の高さは1.8m以上。

★網目は10cm以下にする。

★隙間がないように張り、杭で固定する。

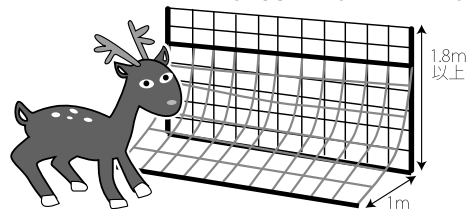
★ネットをフェンスの外側に垂らすと効果有。(スカート)

★丈夫な材質のネットを張る。

★柵周辺の草刈を行なうことが重要。

- ・クズなどのツル性植物がネットに絡むと、柵が倒れる。

フェンスとネットの組合せ(スカート)



大事。何事にもバランスが良くも悪くも、我が身に帰ってくる。農業に対するイメージは？

★農業に対するイメージは？
農家の長男としての責任感と両親の年齢について来てくれた妻の理解と背中を押ししてくれたこと。

★自分の性格は？
複雑過ぎて、自分でも把握できない性格。

★就農のきっかけは？
就農の

★伊方町に望むことは？
農家のお嫁さんにスポットを当て、農家の女性ならではの意見を発信し活躍を広め農家のイメージアップに繋げて欲しい。

★今後の目標は？
両親が元気な内に、農業技術・知識を吸収し園地の整備を行い、作業の効率化を図る。ありとあらゆる可能性を模索して実行したい。

伊方町の新規就農

ニューフェイス



伊方町二名津
浅野 貴光 さん

平成23年就農

お芋さん産地づくり推進事業

伊方町での耕作放棄地対策を振り返って

伊方町の2010年(平成22年)農林業センサスの経営耕地面積は1,084 haで、平成17年1,231 haと比較すると耕作放棄地が11.9%(147 ha)増加し、農家数も平成17年の1,398戸から、平成22年に908戸となり、過去5年間で490戸(35.1%)も減少しています。

この大きな要因は、当地域の基幹産業である農業が、長引く農産物の価格低迷等で、就農者が減少するとともに農業者が高齢化したことにあります。

最近では、高齢となった農業者の離農が増え、担い手が更に不足し連鎖して柑橘園や白畑など耕作放棄地が増加していることが、地域の農業問題となっています。

このようななか、伊方町や県八幡浜支局では、耕作放棄地対策を実践する一つの方法として、平成22年4月から愛媛県南予地方局予算事業『お芋さん産地づくり推進事業』に取り組んできました。

この事業は、金太郎芋の販路拡大と農地再生による産地づくりを目的に「農商工連携産地づくり戦略検討会」を立ち上げ、お互いの連携を深めながら、地域農産物の特産化に努め、農家所得の安定、雇用の増大につなげ、耕作放棄地を解消して行こうとするものです。

初年度は、当地に適し既に栽培されている『金太郎芋』の名称でおなじみの『ベニアズマ』について栽培適地と不適地の土壌分析を行い、それを基に、サツマイモの適地調査を行いました。更に耕作者や県農林水産研究所等の助言もいただきながら耕作放棄地を含み栽培可能地を選定し、併せて商品性や市場性の調査も行い、商工業者と連携しながらサツマイモの販売拡大などの市場戦略検討を行いました。

また、2年目の平成23年度は、耕作放棄地の再生方策や、ベニアズマの流通、加工・販売、担

《2年間の活動》

1. 実態の把握
 - ①実態現地調査
 - ②土壌分析
 - ③実証圃場の設置
 - ④実証栽培
2. 現地視察研修
3. 市場調査
4. 農産物の栽培
5. 加工品の開発と試作
6. 試食調査

い手の確保・支援等平成22年度の検討結果に基づき、地元商工業者と連携した営農支援組織等による農地再生の産地づくりの検討や需要に応じたサツマイモの新たな加工商品開発や試作を、生活研究協議会や町内加工業者と行いました。

また、今後の販売手法や販売拡大について加工商品等の商品性・市場性の調査、PR等流通販売対策手法の開発などを行っています。

サツマイモの栽培や耕作地について、平成22年度に選定した栽培可能地で、試験栽培を行って生産性や食味の確認を行いました。

今後は、モデル畑地を作り、作付け意欲の向上を図りながら営農の意識化を目指すとともに、ワークショップ等を定期的に開催し、担い手づくり、作付け拡大、販売拡大に努めていく必要があると考えられます。

今回の事業では、耕作放棄地対策、担い手確保、容易に栽培できる作物、6次産業というキーワードで、事業を進めてきましたが、より効率的に進めていくには、伊方町農業支援センターを中心に行っている各種支援情報を活用していただくことが、今後の耕作放棄地対策及び担い手の確保などの問題を緩和する方法の一つになるのではないかと考えています。



サツマイモの産地『徳島県鳴門市』



土壌調査



サツマイモの試食会



加工品開発の検討



耕作適地での試作

営農だより

① 晩柑類腐敗防止剤散布

品 種	時 期	薬 剤	倍 数	収穫前日数	年間使用回数
デコボン	12/下 ～1/上	ベンレート(水)	4,000倍	7日	4回
		+ベフラン(液)	2,000倍	前日	2回
サンフルーツ	12月 ～1月	マデックEW	2,000倍	10～20日	1回
		+ベフラン(液)	2,000倍	前日	2回

② 晩柑類採集

共選等の収穫指示に従って、適期採収を行なって下さい。

③ 晩柑類の予措・貯蔵

品種によって、予措、貯蔵方法は異なります。下記を参考にして下さい。

特に貯蔵中は、果実の入れすぎ等により加湿になりやすいので、換気扇、戸の開閉により室内空気を循環させるとともに、坪当たり貯蔵量1トン以下を厳守する。

ヘタ落ち、ヤケに注意するとともに、定期的に点検し腐敗果を除去する。

柑橘の予措程度と貯蔵条件の目安

品 種	貯蔵区分	予 措	貯 蔵	
		減量割合 (%)	温度 (℃)	湿度 (%)
伊 予 柑	短期貯蔵	3～5	8～9	85
ポンカン		5～7	4～5	80
デコボン		3～5	6～8	85～90
清 見		しない	5～8	80～90
サンフルーツ	短期貯蔵	4～5	5～8	80～85
	長期貯蔵		3～5	

※ 伊 予 柑・・・専用貯蔵庫がない場合は、新聞紙を利用する(コンテナ内面に敷く)。

※ ポンカン・・・予措は、比較的暖かい部屋で行う。

※ デコボン・・・予措は、ゆっくりと行う。長期貯蔵の場合は、ポリ個装を行う。

※ 清 見・・・大袋を利用する。長期貯蔵の場合は、ポリ個装を行う。

※ サンフルーツ・・・長期貯蔵の場合は、ポリ個装を行う。

収穫・草刈・防風垣・剪定等の農作業のお手伝いさんを募集しています。

農作業のお手伝いさん(登録支援者)を募集しています。農作業で人手が必要になった時に少しの時間でもお手伝いしていただけませんか、土日又は半日・短時間でも農作業のお手伝いの方も可能です。農家又は非農家は問いません。登録をお願いいたします。

登録を希望される方は、「求職申込書」を提出して下さい。

【問い合わせ先、申込書提出先】

西宇和農業協同組合 伊方支店 営農管理センター 無料職業紹介所

電話0894-38-0311 FAX0894-38-1063 (担当:藤井・林)